

BIWAKO ビエンナーレ 2018 きざし〜BEYOND

2018 年 9 月 15 日[土]ー11 月 11 日[日] 火曜日定休
滋賀県近江八幡市旧市街 12会場



BIWAKO ビエンナーレ概要

2001 年、21 世紀の幕開けとともに始まった BIWAKO ビエンナーレ。会場となる近江八幡旧市街は、豊臣秀次により築かれた城下町を基礎とし、近世では近江商人発祥の地として発展しました。江戸期に建てられた町家が軒を連ねる新町通り、永原町通り、八幡堀沿いの町並みおよび日牟禮八幡宮境内地は「近江八幡市八幡伝統的建造物群保存地区」の名称で国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されています。しかし市内では、放置され荒れ果てた多くの空き町家が点在し、近代建築や駐車場へと姿を変えていくという現状があります。BIWAKO ビエンナーレでは、そうした現状を打開すべく、残された貴重な建物の保存と活用を試みます。長年放置されていた建物を、地元住民や日本全国から集まる有志たちの手で清掃することから始め、国内外より集まるアーティスト達が各々の空間を作品化していきます。彼らの手により何年もの間、訪れる者もなく忘れ去られていた建物たちが、生き生きと輝きを取り戻し蘇るそのさまを、作品とともに楽しみいただければ幸いです。

今回のテーマは、“きざし〜Beyond”。作家たちによって表現されるさまざまなきざし、明るい未来へとそのきざしが紡がれていくことを願っています。また今回は、日仏友好年にもちなみフランス、パリ市にてプレ BIWAKO ビエンナーレを開催します。フィリピン、マニラ市にても同様プレ BIWAKO ビエンナーレを開催します。

【要約】

この芸術祭は、総合ディレクター中田洋子氏のもと、国内外の芸術家約 70 組を滋賀県に招請し、近江八幡地域住民と協働して使われなくなった日本家屋を修繕・清掃したうえで、再生された日本家屋にはアート作品を展示し、「BIWAKO ピエンナーレ」の会場として一般に公開するものです。



喜多七右衛門邸

【BIWAKO ピエンナーレの見どころ】

- *国内外のアーティスト約 70 組の現代アート作品が一堂に鑑賞できる。(うち海外作家 19 名 フランス 7 名、ポーランド 1 名、スウェーデン 3 名、フィリピン 4 名、ヴェネズエラ 1 名、台湾 1 名、香港 1 名、イタリア 1 名)
- *著名なアーティスト、榎忠氏が、元酒工場の大空間に薬莢の作品を展示する。
- *2017 年スパイラル大賞受賞者の江頭誠氏が、元畳問屋の離れ空間をまるごと作品化する。
- *小曾川瑠那氏(ガラス作家、今回のメインイメージに起用)の展示空間及び建築家の赤澤林太郎氏が作成するお茶室空間では、京都のインセンスショップ リスンの協力により、作品より想起されるインセンスが焚かれ、香りの演出も楽しめる。
- *ストックホルムのノーベル博物館主催の展示にてノーベル平和賞部門の音楽を共同製作するなど、多方面での活躍を見せるスウェーデン在住の作曲家、林小百合氏は、インターラクティブな作品を展示する。
- *シンガポールピエンナーレでも活躍したライアン・ヴィラマエル氏と、映像作家のステファン・ラーソン氏が町家の約 30 畳の大空間でコラボレーション展示を行う。
- *筑波大学数理物質系化学域、助教である菱田真史氏が、科学とアートを融合させた興味深い作品を展示する。
- *近江八幡市旧市街に点在する会場を巡ることで町の散策が楽しめる。
- *会場は、八幡山山頂の展望館と御所門跡の瑞龍寺も含まれる。ロープウェイに乗る楽しみに加え、山頂からのすばらしい眺望も満喫できる。
- *期間中にナイトツアーを開催。日中とは異なる建物と作品たちの表情を楽しめる。
- *夏休み期間を中心にアーティストによる、子どもを対象としたさまざまなワークショップやイベントを開催。
- *期間中、アーティストトーク、お茶会、コンサートなど多彩なイベントを行う。

【参加アーティスト】

榎忠(金属造形/日本) 小曾川瑠那(ガラス/日本) 江頭誠(毛布による造形/日本) 長谷川早由(日本画/日本)
井上剛(ガラス/日本) 山田正好(針金による造形/フランス在住) 菱田真史(科学×アート/日本) 野田拓真(唐紙/日本)
オージック(映像/スウェーデン) ライアン・ヴィラマエル(紙によるインスタレーション/フィリピン)
ガブリエラ・モラヴェッツ(映像・インスタレーション/ポーランド) マチュエー・キリン(建築家・インスタレーション/フランス) 他



1

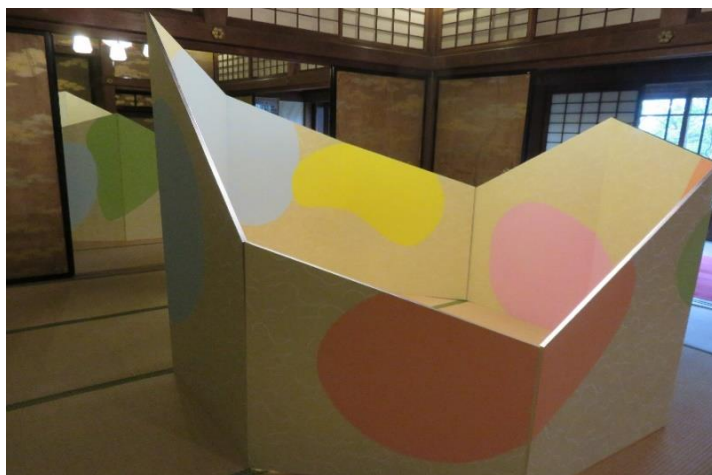
2012 年 兵庫県立美術館 撮影：豊永政史 (SANDWICH GRAPHIC) ©Chu Enoki



2



3



4

- 1 榎忠「葉花」
- 2 江頭 誠「お花畑」
- 3 井上剛「環(ヒのマ)」
- 4 野田拓真「Play」

【開催要項】

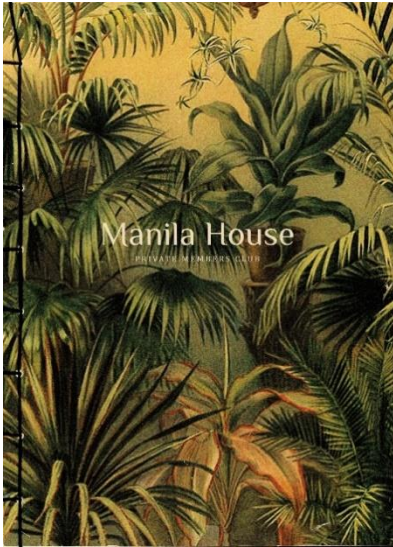
展覧会名	BIWAKO ビエンナーレ 2018 [BIWAKO BIENNALE 2018]
テーマ	きざし〜BEYOND
会期	2018 年 9 月 15 日[土] ― 11 月 11 日[日] 10:00～17:00 ※休み 火曜日
料金	一般 2,200 円(2,000 円)、学生(大学・専門学校・高校生)1,500 円(1,300 円) ※()内前売り料金 中学生以下無料
展示会場	滋賀県近江八幡市旧市街(尾賀商店、まちや倶楽部、旧中村邸、村雲御所瑞龍寺門跡、 八幡山展望資料館、他
主催	NPO 法人エナジーフィールド
助成	(公財)花王芸術・科学財団、(公財)朝日新聞文化財団、(公財)河本文教福祉振興会、(公財)秀明文化財団(予定)、(公財)平和堂財団(予定)、 他
協賛	有限会社フェイム、夏原工業株式会社、近江ユニキャリア販売株式会社、食産耕房、蔵や 南紀白浜梅樽温泉ホテルシーモア(予定)、SOHO Clue(予定)、京都銀行近江八幡支店(予定) 株式会社みゆき本舗(予定)、近江ユニキャリア販売株式会社(予定) 他
協力	リスン、滋賀県立大学 永井拓生研究室、村雲御所瑞龍寺門跡、近江鉄道株式会社、尾賀商店、 カネ吉ヤマモトフーズ、あわ八、あきんど商店街(予定) 他
後援	滋賀県、近江八幡市、近江八幡市教育委員会、近江八幡観光物産協会、 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、スウェーデン大使館、ポーランド広報文化センター 滋賀県教育委員会(予定)、株式会社しがぎん経済文化センター(予定)、フィリピン大使館(予定) 他
交通案内	JR 東海道線・近江鉄道「近江八幡」駅下車→駅北口近江鉄道バス 6 番乗場「長命寺・国民休暇村」行き →「大杉町」下車(乗車時間約 7 分)／名神高速道路「竜王 I.C」より約 12 km、「八日市 I.C」より約 15 km 近 江八幡方面へ



八幡堀

【関連企画】

プレ BIWAKO ビエンナーレ 2018



マニラ市

会期:5月10日～6月30日

会場:マニラ市 マニラハウス



パリ市

会期:7月12日～8月30日

会場:パリ市 サンメリー教会

【BIWAKO ビエンナーレ事務局】

住所 滋賀県近江八幡市仲屋町中 12 スワイビル2F

Tel+Fax 0748-36-3766

E-mail info@energyfield.org

公式サイト <http://energyfield.org/biwakobiennale/>

Facebook <https://www.facebook.com/biwakoBN> (日本語)

<https://www.facebook.com/BiwakoBiennale> (英語)

Twitter https://twitter.com/biwako_biennale

取材・図版提供などのお問い合わせ先:BIWAKO ビエンナーレ事務局 長谷川 (s.h.energyfield@gmail.com)

Tel /Fax 0748-36-3766 E-mail info@energyfield.org

BIWAKO ビエンナーレ 2018 プレスリリース 2018/03